

千早 高等学校 令和7年度 教科 国語科 科目 言語文化

教 科： 国語科 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 HR 11 ～ HR 16

教科担当者：

使用教科書：（ 新言語文化 三省堂 ）

教科 国語科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基礎的な語彙力・読解力を持ち、授業や課題から得た知識を活用することができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】基礎的な思考力・判断力を持ち、自己の意見を正確に伝えられるようになる。

【学びに向かう力、人間性等】他者を尊重し、人の意見を傾聴する力を持ち、時間をかけて学びに取り組む態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典の世界や古典作品を、歴史的・文化的背景まで含めて理解し、現代社会や他国文化を理解する際に活用できるようになる。	古典作品のテーマや内容を的確に読み取って解釈したうえで、作品に対する自分の意見を他者に筋道立てて伝えることができるようになる。	言語文化の授業の中で得た様々な情報を活用したり他者と協力したりすることによって、自己の課題を改善することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元【読書は生きる力】 【知識及び技能】 ・古典の言語文化や文化的背景に親しみ、理解を深めると共に豊かな語彙をはぐくむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	教材『枕草子』 ・作品を音読し、大意を捉える。 ・筆者独自のものの見方について考える。 ・「をかし」「ありがたし」について理解する。 ・古典文法「四段活用」「上二段活用」「下二段活用」を理解し、本文に出てくる動詞の活用・活用形を理解する。	【知識・技能】 ・古典の言語文化や文化的背景に親しみ、理解を深め、語彙力を育むことができる。 【思考・判断・表現】 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1
	単元【物語は無限に展開する】 【知識及び技能】 ・漢字や語句の知識を増やすと共に、豊かな語彙の構築を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えさせる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	教材『羅生門』 ・文章を通読し、概要を把握させる。 ・「下人」の心情の変化を確認させる。 ・「老婆」の発言の内容をまとめる。 ・「下人」の考え方の変化と、そのきっかけになったできごとについて考えさせる。 ・一人1台端末を活用し、生徒の意見共有、集約を行う。	【知識・技能】 ・漢字や語句の知識を増やすことができる 【思考・判断・表現】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えることができる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	14
	定期考查			○	○		1
2 学 期	単元【言葉は時空を駆けめぐる】 【知識及び技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する力を育む。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・内容の解釈を深めることに向けた粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	教材『伊勢物語』 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解させる。 ・作品や文章が成立した背景や他の作品などの関係を踏まえ、内容の解釈を深めさせる。 ・古典文法を理解し、本文に出てくる動詞の活用・活用形を理解する。	【知識・技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解することができる。 【思考・判断・表現】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考查			○	○		1
	単元【文学は主張する】 【知識及び技能】 ・漢字や語句の知識を増やすと共に、豊かな語彙の構築を目指す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えさせる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	教材『なめとこ山の熊』 ・文章を通読し、概要を把握する。 ・登場人物と熊たちとの関わりや思ひ出をそれぞれ整理する。 ・小説から読み取れることをまとめ、自分の考えを整理させる。	【知識・技能】 ・漢字や語句の知識を増やすことができる 【思考・判断・表現】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えることができる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	15
	定期考查			○	○		1
	単元【人の心は万華鏡】 【知識及び技能】 ・古典の表現技法とその効果について理解させる。 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解することができる。	教材『十八史略』 ・訓読の基本について理解する。 ・返読文字や再読文字を理解する。	【知識・技能】 ・古典の表現技法とその効果について理解することができる。 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解することができる。				

3 学 期	ロマン・ロマンと現バロマンの二つは、 りについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身に付けた知識・技能を基に、適切に文法的意味を判断する能力の育成を目指す。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。		【思考・判断・表現】 ・身に付けた知識・技能を基に、適切に文法的意味を判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	7
	単元【読書は生きる力】 【知識及び技能】 ・古典の言語文化や文化的背景に親しみ、理解を深めると共に豊かな語彙をはぐくむ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えさせる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を解釈させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強い取り組みと学びに対する積極的な態度を育成する。	教材『虎の威を借る』 ・傍訳を参考にしながら大意を捉えさせる。 ・話がどのようなことを意味しているか考え、まとめさせる。 ・故事成語の用法について話し合わせる。	【知識・技能】 ・古典の言語文化や文化的背景に親しみ、理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ・文章の内容や構成、展開などについての確に捉えることができる。 ・作品に表れているものの見方や感じ方、考え方を捉え、内容を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業で積極的に発言し、期限を守って課題に取り組むことができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
							合計
							78

